

解答速報

2010 年度 東海大学医学部一般編入学試験（2009 年 9 月 27 日 実施）

《英語》

- 1 (1) a (2) b (3) b (4) a (5) c (6) c (7) c (8) b
2 (1) e (2) c (3) a (4) d (5) d (6) b (7) c (8) e (9) d (10) d
3 1) D 2) A 3) D 4) C 5) A 6) C 7) C 8) A
4 1) C 2) B 3) D

【講評】昨年度よりも読解問題は易くなっているが、1の問題の(1)は全体から判断することが大切である。2は論旨を追っていけば解答は絞りやすい。3の問題は常識を問う問題で平均的と考えられる。4の数的処理の問題は例年通りの出題である。合格ラインは 70%～75%と想定される。

《適性試験》

- 1 キ
2 カ
3 ウ
4 ウ
5 カ
6 キ
7 キ
8 タ
9 サ

【講評】昨年度よりも易化しており、合格ラインは 75%（9 題中 7 題の正解）と予測される。前半 5 題、1～5を確実に正解することがまず重要である。後半 4 題、6～9は前半 5 題と比べればやや難度が上がるが、その中で半数正解は十分可能であろう。

1は、太郎と花子が出会うまでの時間、ポチが走り続けていることが理解できれば正解に達する。2は、円盤の回る向きを間違えなければ、歯車の進んだ数を計算して解答できる。3は、何を行っているかを正確に把握することが重要で、その点で読み間違えがなければ正解できる。4は、①と③は平成 13 年 1 月の輸入額をもとに平成 14・15 年の該当月のデータから求める輸入額が計算可能である。②④は各月の輸入額はグラフからは読み取ることができず、誤りである。5は、空欄の前段落で問題提起に続いて『人が生きていることには意味などない』という状況を現実により作らしてみせている」との筆者の見解が述べられており、これを読み取っていれば正解できる。

6は、ここ 2 年ほどの優先順位問題よりも若干解きやすくなっている。「同定」の語が理解できること、就業の「斡旋」と「定着のサポート」の順序関係が分かることで正解できる。

7は、投影図の考え方がわからなくても、正面については穴の位置と切り口の形状によって、右側面については三角錐の切り取りが穴の見通しに関係ないことを理解することで正解に

達する。[8]の後期高齢者医療制度については再度聞かれることとなったが、制度の基本的な理解があれば多少の推理を伴っても正解できると思われる。[9]の不登校については、知識がさして多くなくても、多様・多数の不登校が生じていることから考えて選択肢を検討することで正解に達することもできよう。

受験生の皆さん、1次試験の受験おつかれさまでした。復習の上、ぜひ2次試験に向けての準備を早期に開始してください。

